

# 教育

## 市内米穀小売商組合から購入すべき 選定要件満たせば可能と考える

学校給食用の米

**加藤武史議員(自由クラブ)**  
食料費の高騰で給食費の値上げが必要だが、平成21年度は、保護者の経済的負担を軽減するため、米を各校に現物支給する学校給食費安定化食料購入緊急措置事業を1億1千万円の予算で行う。この予算は市税であり、市内業者育成の観点からも、市内米穀小売商組合から購入すべきである。

**答** 小中学校、特別支援学校の給食で使用する約3000tの米を購入予定だが、年度当初は、現在の納入元である財団法人千葉県学校給食会から購入する。それ以降は、一般競争入札等で業者決定することから、選定要件を満たせば、市内業者からの購入も可能と考える。

# 一般質問

2月定例会では、31人の議員が一般質問を行いました。質問の持ち時間は答弁を含めて1人60分。ここでは紙面の都合上、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、ジャンルごとにまとめて掲載しました。

<会派の略称>

市民連合=市民連合・あい  
ガバナンス=ニューガバナンス

※会派名は質問時の会派で掲載しています。

次世代育成

## アウトカム評価で教育施策改善を 効果の判断基準の設定難しい

**高橋亮平議員(ガバナンス)**

平成20年12月定例会で、教育委員会に対しアウトカムを数値で評価すべきとの指摘を行い、今後は数値で

表せるものは表すとの答弁を得たが、2月の点検評価報告書には数値がほとんど入っていない。アウトカム評価をし、施策・事業のロードマップ・アンド・ビルド

を行ってしっかりと改善していくべきだ。

**答** 現在、次の報告書に関して、評価を数値で測れるかどうかの区分、目標達成

基準等の調査も行っている。

しかし、教育は様々な施策を合わせて効果が得られる

ため、効果の判断基準の設定が難しく、総合的な視野

で判断したい。

夜間学級入学資格

## 身元保証人が必要だが見直すべき 平成21年度から資格要件を変更

**桜井雅人議員(日本共産党)**

大洲中学校の夜間学級の生徒は、外国籍の比重が高くなってきている。入学資格も良いのではないかとの声もあるが、入学条件を見直

す考えはないのか。

**答** 身元保証人を入学資格の要件としたのは、身元確認のためである。しかし、入学条件は既に見直しており、平成21年度から、身元保証人がない場合は、当該市町村教育長の副申があれば、入学が可能となる。今後も学校と連携し、夜間学級の運営を支援する。

日本語指導通訳講師

## 実態に合わせ研修内容の検討必要 講師の意見に耳を傾け研究したい

**石原美佐子議員(市民連合)**

日本語にハンデを持つ児童、生徒の日本語指導や生活支援として、日本語指導教室を小中8校に設置し、

担当教員の指導等の補助として、平成20年度は17人の通訳講師を学校に派遣している。これからは、一歩踏み込んで、どのような研修が必要なのか、通訳講師の意見に耳を傾けて研究検討していきたい。

討が必要であるかどうか。

**答** 現在、県主催の研修会や市主催の日本語指導教室担当教員と通訳講師の連絡会を年2回開催し、相互の指導力の向上と連携を図

っている。これからは、

研修が必要なのか、通訳講師

の意見に耳を傾けて研究

検討していきたい。

大洲中学校夜間学級

## 日本語指導の課題と取り組みは 講師派遣、環境整備など努める

**湯浅止子議員(市民連合)**

県内唯一の夜間学級である大洲中学校は、帰国子女や戦中に学校へ通えなかった人のためにつくられたが、現

在は外国籍の生徒にも門戸が開かれた学びの場となっている。日本語指導の課題、施設整備について問う。

**答** 夜間学級には外国籍生徒40人を含む48人が在籍している。日本語指導は習熟度に応じ、グループ指導を行っている。通訳講師を派遣決定したが、講師が支援出来る時間帯と夜間学級の時間帯の調整が課題である。また、教室は普通教室と特別教室以外に図書室なども活用している。実情を踏まえ、少人数学習しやすい場の確保を検討していきたい。

# まちづくり

中国分のマンション計画跡地

## 風致地区に戻す要望どうなった 県は指定要件に該当しないと判断

**清水みな子議員(日本共産党)**

中国分3丁目のマンション建設計画は断念されたが、周辺地域が風致地区に指定され第一種低層住居専用地

域であるのに対し、当該地及び住友金属研究所跡地は第一種高度地区になっている。風致地区に戻すことを県に要望しているとのことだが、どうなっているのか。

**答** 本市の風致地区の見直しについては、平成19年9月26日付で県に要望書を出し、協議を進めてきた。要望書の提出を受け、県は国の都市計画法運用指針に基づき判断した結果、指定要件には該当しないとの見解であるため、現状では風致地区に指定することは難しいと考えている。

真間地区の歴史的資源

## 魅力をどうPRしていくのか 新たな資源の活用に取り組む

**松永鉄兵議員(緑風会)**

真間地区は万葉の里として知られ、真間山弘法寺、芳澤ガーデンギャラリー、手児奈まつりなど文化歴史的

資源が豊富である。今後多くの人に訪れてもらうには、同じことをするだけでなく、新しい魅力のPRが有効である。真間地区では、まちかどミュージアム都市

**答** 懇談会での意見を受け、地域版ホームページの開設や街回遊ルートの設定を行ってきた。今後も現存する資源の保存・活用を図り、新たな資源の発見・活用に取り組んでいきたい。

大和田・稲荷木地区のまちづくり

## 新設するポンプ場の環境対策は 設備は建物内に建物は周辺に配慮

**増田三郎議員(自由クラブ)**

総武線以南の雨水排水対策として大和田地区に大型のポンプ場を建設することだが、悪臭対策や騒音

対策など、周辺住民に対する配慮はしているのか。

また、稲荷木緑道の未整備部分は平成21年度中に整備予定とのことだが、完成はいつ頃か。

**答** ポンプ場は大和田2丁目に建設予定で、排水路は地下排水溝とし、ポンプ等を全て建物内に整備するなど、環境対策を図ると共に、緑化を十分行い、建物の景観も周辺の住環境に配慮したものにしたい。

また、稲荷木緑道整備については8月頃の施工を予定している。

中国分のマンション計画跡地

## 地区計画などの手法活用は 事業者との間で協議している

**松葉雅浩議員(公明党)**

中国分3丁目のマンション計画跡地を風致地区に戻すことは難しい状況とのことである。戻せないのでは

れば、周辺住民が望んでいる住環境を維持するため、隣接地も含めて、地区計画などの手法を活用することは出来ないか。また、周辺住民の意見は地区計画などに反映されるのか。

**答** この跡地については、現在事業者との間で、地区計画などを定められないか協議をしており、隣接地は、地区計画の導入も視野に入れて対応している。また、地区計画が導入された場合は、法的な縦覧制度があるため、周辺住民は意見を述べることも可能である。